

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(2022.04.07)

文・写真：武田、写真：山 國

日 時：2022(令和 4)年 4 月 7 日(木) 9:30～17:00

気 象：晴(18℃)

活動エリア：45 林班ろ-03

活動内容：森林機能強化(東海自然歩道の水切り溝掘り返し、路肩整備、支障枝の除伐 など)

参加者(会員)：石原順子、内海宏一、斧田一陽、倉谷邦雄、河野直子、武田壽夫(AM)、竹歳三喜子、
中村賢三、中川義行、湊 亮、山田真也 (11名)

<ツバメは飛び始めましたか?>

◆昨日 6 日の日暦は「玄鳥至(ツバメの来たる)」。季節は速足のようだ。

さて、この森林づくりは「森林・山村多面的機能発揮対策事業」に採択されていて、その交付金を受けて展開している訳だが、今日は予算執行の年度替わりの切れ目の時期。そこで、定例の森林づくりは一寸お休みして、日頃、山歩きやトレッキングを楽しませて貰っているご恩返しを、と言うことで、東海自然歩道をポンポン山まで、荒れた箇所を手直ししていく。水切り溝は落葉や土で埋まっているし、道も崩れた場所は何か所か。道に被さる枯れ枝も気になる処。併せて歩道沿いの会員の持ち山への訪問も。



←目を覚めたポンポン山の「カタクリ」

<今日の成果>

本山寺～ポンポン山間の水切り溝の掘り返し、歩道の補修など。

付けたり：杭打ち用の掛け矢を紛失。搜索するも見つからず、翌日、山麓の川久保在住の会員が再び探しに向かい、斜面を滑り落ちているのを発見。善哉々々。

<写真編①>

【路肩に杭打ち歩道の補強】

一本山寺からの旧道と歩道の合流点



【左の施工後(右が旧道)】



<写真編②>

【山側の崩れを補修】



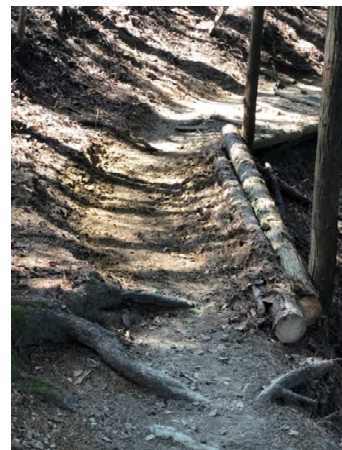
【水切りを掘り返す】



【路肩補強(足下の溝は掘返し済)】



【倒木を並べて補強した路肩】



【段差の大きい木段は歩き易く】



【持ち山の倒木を処理中】

